

会議録

会議の名称	令和5年度第13回新城市若者議会
開催日時	令和5年1月25日（木）午後7時から午後9時まで
開催場所	市役所4階会議室
会議の内容	令和5年度第13回新城市若者議会 ・若者議会からの活動報告 ・市議会との意見交換

1 若者議会議長あいさつ

2 若者議会からの活動報告 各委員会から3つの事業について説明をした。

3 市議会との意見交換

各委員会ごとにわかれ、市議会議員の方々と事業についての意見交換が行われた。意見交換の内容は以下のとおりである。

(1) 農業委員会

市議会議員 若者議会委員	農業に興味を持った理由は何か。 高校時代に田んぼだったところに太陽光パネルが建ち、景観が変わったのが印象にある。
市議会議員 若者議会委員	レシピはどの範囲で募集するのか。 市内を対象としている。
市議会議員 市議会議員	学校給食課との連携はしてきたか。今後連携していくことを考えているか。入賞作品を給食レシピに取り入れることも考えているか。その場合は、学校給食課との連携が必要ではないか。
若者議会委員	農業課と話を進めている。令和5年度に実施する給食レシピコンテストの審査をする方が学校給食に関わる人だと思う。そういった意味で入賞作品が学校給食につながると思う。学校給食に適していればそのまま給食メニューになるかもしれないが、そうでなければ変わる。
市議会議員	農業体験の紹介について、現状、新城に農業体験メニューはたくさんあるのか。
若者議会委員	聞いた話では、ある程度農業体験があると聞いている。し

市議会議員	かし、P Cで検索すると出てこない。実際にあるのに伝わっていない。
市議会議員	東京に新都市の移住センターがある。過疎地の市町村が必死になっている。若者はふるさとを出た後なかなか帰ってくることは少ない。
若者議会委員	若い人で農業に興味ある人には、有機農業に興味のある人が多いと聞く。新都市にもいるが、そういう人達へのアプローチは考えているか。
市議会議員 若者議会委員	有機農業のみにアプローチをしていく考えはない。農業全般に対するアプローチをしていく。パンフレットの中で、実際に新都市で農業をしている人を紹介するページがあるので、そういったところに入れ込むことは可能である。今後検討していきたい。
市議会議員	市の課題とか思うところがあれば聞きたい。
若者議会委員	農業は高齢化が進んでいる。その中で、有教館では農業系列があるのに高校でやめてしまうことが多くもったいないなと思っている。収入面等、農業で生きていくことが難しい。
市議会議員	ポスターには、若者議会の方はでないのか？若い人が乗っている方が農業に対するイメージが変わる。
市議会議員	政策案手法と住み続けられるまちにすることがどのようにつながるのか。農業に関わる人だけのことか。だれが住み続けられるようにしたいのか。
若者議会委員	耕作放棄地が家の近くにあると住み続けようとは思わない。農地が管理されている方が住みたいと思うまちではないか。
市議会議員 若者議会委員	キャンプ用特産品セットは若者議会でデザインするのか。セットメニューを考えていない。提案して、店側がやるかやらないかを判断する。
市議会議員	農家にインセンティブを設けたり、そういったところに予算をかけるなどしてもいいのではないか。店側にも市にもWINWINになるようにしてはどうか。若者議会の提案した事業なのか事業者が提案した事業なのかわからなくならないようにした方がいい。
市議会議員	新都市は新規就農者が多い。キャンプ場はある、食べ物はある、炭はどうするのとなる。農協もあるし森林組合もあるので、そういうセットを扱ってもらえるところを探すことになる。
市議会議員	農地の後継者がいない。後継者をどうつくっていくかも考えてほしい。

市議会議員	昔、グリーンツーリズムというのがあり、対応する農家さんが大変になり続かなくなったことがあった。続けられるようなシステムづくりをしてほしい。
市議会議員	若者議会が用意した若者世代に訴えるような農業体験があるのか。
若者議会委員	農業体験に来てもらう層としてはとても幅広いものを考えている（20代～40代）。理由としては、移住相談会の際に新城市の農業に興味を持ってもらえる年齢層が幅広いと聞いたからである。特別若者に向けてということではない。
市議会議員	半農半Xをどう考えるか。
若者議会委員	その部分は考えられていない。
市議会議員	キャンプ用セットについて、鳳来牛に合うわさびの提供は新城市内にないか。新城らしさを出すため、わさびを使えないか。
若者議会議員	店への提案のみ考えているが、検討してみる。
市議会議員	やりたいこと（手法）があって、何のためにが後付けではないか。新城市の農業を知ってもらおうと住み続けられるところの繋がりが腹に落ちない。何のためにをもっとバチッとくるようなものにしてもらえるといい。
若者議会議員	何のためにから考えているため、後付けではない。検討する。
市議会議員	新城市は新規就農者の実績は多い。そこではなく、山村留学などをやって農業を体験してもらうだとか若者議会がプロデュースするような突飛なことをしてほしい。

(2) 若者議会委員会

市議会議員	つながる地域と若者の輪は、年に何回予定しているか。中学校は6校あるが、それぞれの地区を回ることも考えているか。
若者議会委員	私たちが元々複数回開催できればと考えていたが、担当課が回数をこなすのが難しいということで年に1回を想定している。どの中学校で行うかということについては、毎年同じ中学校で行うのではなく、順番で回していこうと考えている。
市議会議員	過去にも若者議会の漫画を配布するなど、同じような事業があったが、そういった事業との繋がりについてどのように考えているか。
若者議会委員	過去にも若者議会をPRする事業があったが、今回はどこの層にPRするかが1番のポイントである。今までは高校

若者議会委員	生や大学生など若者議会に入ることができる年齢層の方に向けたPRが多かったが、今回は小学生と中学生といった将来的に若者議会の対象年齢になっていく方たちにPRする。
市議会議員	補足であるが、これまでの事業は実際に入ってもらおうということを目的としていた。今回はどちらかというと、「堅い」や「難しそう」といったマイナスイメージを打破することに重点を置いている。
若者議会委員	堅いイメージや難しいイメージを払拭したいということであったが、実際に堅くて難しいのではないかと。若者議会をやる中で難しいことはあると思う。しかし、アンケートにおいて回答のあった難しいというイメージは、「私では絶対にできない」「役に立てない」といったようなマイナスのイメージから来るものだと思う。私たちも若者議会を始めた頃は積極的に意見を出すことが難しかったが、事務局の皆さんやOB・OG、メンターの方とやっていくうちに少しずつ自分から意見を出せるようになった。アンケートで想定されるようなマイナスイメージの「難しい」ではないということ伝えていきたい。「堅い」というイメージについては、議場などでやる際は堅い雰囲気かもしれないが、普段行っている委員会の会議では、少し笑いもあり、フランクな場面もある。
市議会議員	だとしたら、肝心の見えているところが堅くなっており、見えていない部分が堅くないということなので、皆さん堅いと思われると思う。それを払拭したいのであれば、議場などの場面で堅くしないほうが良いのではないかと。どうして堅いイメージになっているかを考えると、それに対するダイレクトな解決方法になると思った。また、前から言っていることであるが、もっと目立ったほうがいいのではないかと思う。大学のサークルみたいなイメージでやったほうが堅いイメージは取れると思う。こういったところで堅くしないと大人が意見を聞いてくれないという時代は終わったと思っているので、どんどん広げてほしいと思った。
市議会議員	ポスターやカードの効果を得るためにどのような手法を考えているか。
若者議会委員	名刺サイズのカードについては、何か付加価値をつけることも検討している。例えば、限定動画を載せるという意見が出ている。
市議会議員	付加価値をつけることによって、費用が増えることはないか。

若者議会委員	若者議会のメンバーのオフの時の映像を入れ込むという案が出ているが、それについてはY o u T u b e で限定公開にして二次元コードを印刷するだけであるため、追加費用が発生することはない。
市議会議員	量はどれくらいを考えているか。
若者議会委員	名刺サイズのカードは学校に配るもの、レジ横に置くもの、イベントで配布するもの全て合わせて3, 9 0 0 枚を想定している。ポスターは学校や公共施設に掲示するものとして1 8 0 枚である。
市議会議員	若者議会のメンバーを集める方法はいろいろあると思うが、いつも「待ち」な気がする。何かを作ってくるのを待っているうちは、気づいた人しか来ない。お金をかけてやるのもいいが、1 番強いのはやはり取りに行くことである。
市議会議員	市役所の会議室から学校に変更するという点について、たしかに市役所のほうがハードルが高いのかもしれないが、市役所に呼ぶことで「こんなところなんだ」と逆にハードルを下げてもらえるかもしれないと思った。逆にいいのではないかと思う。
市議会議員	チラシよりも手に取ってもらいやすいように、名刺サイズのカードを作るということであるが、なかなか小中学生に名刺を手にする文化がないかと思う。その点はどう考えているか。
若者議会委員	私たちも小中学生に自分で手に取ってもらうことは考えにくいと思っている。小中学生には、学校を通して配ってもらう。
市議会議員	つながる地域と若者の輪については、今まで何年くらい開催して参加者はどれくらいであったか。
若者議会委員	つながる地域と若者の輪は、今年度で2 年目であり、最初の年がたしか4 ~ 5 人、今年度が1 3 人であった。あまり多いとは言えない。今回の事業でブラッシュアップを行うことで増やしていけたらと考えている。
市議会議員	今回の見直しで、時間が増えると逆に負担になると思うが、たくさん集めるのが今回の趣旨だと思う。P R の仕方や声かけの方法などに工夫が必要だと思うが、何か考えていることはあるか。
若者議会委員	まず、2 時間から4 時間に伸ばした経緯から説明させていただく。今まで2 時間で行ってきたが、事前に宿題で新城の良いところを挙げてきてもらってはいるものの、自分の知っていることでしか書き出すことができない。4 時間に

	伸ばしてしっかりと新城についてインプットしてもらいたいという思いがあった。時間が伸びることはデメリットであるが、それ以上に情報を知った上で議論することにはメリットや効果があると考えている。
--	--

(3) まちづくり委員会

市議会議員	リノベーションをどうして思いついたのか。まちなみをどう利用してほしいのか。
若者議会委員	まちなみは、コロナ前、ボードゲームなどが行われており明るい雰囲気であった。しかし、コロナ禍を経て雰囲気が変わり若者の交流する居場所がなくなったので、復活させ、みんなに交流の場として利用してほしい。
市議会議員	環境を整える政策だが、運営面での仕掛けは考えているか。
若者議会委員	スタッフがボードゲーム等を紹介できるような仕組みにしたい。また、若者チャレンジ補助金を使用してイベントができたらいいなと思う。
市議会議員	ソフト面等で中心になって動くメンバーは考えているのか。
若者議会委員	今の委員会では、環境面を中心に考えていたので、ソフト面に関してはまだそこまで考えられていない。その部分について、今後考えていく必要がある。中心メンバーがこの委員会のメンバーになるかはわからないが、関わってはいきたい。
市議会議員	若者議会で経験した1年を通して政策を考えることについて、今後活かせるか。
若者議会委員	若者だけで市について、考え合うことは貴重な機会であった。
若者議会委員	話し合いの中で、意見を言うのに常に頭を働かせている。色んな視点があることなど多方面で学んだ。
若者議会委員	市内外、大学生、社会人、全く違う環境に置かれている人と話し合う経験がこれからの進学、就職に活かせるのではと思う。
若者議会委員	自分から発信できるようになった。政策や市に興味関心を持つようになった。元々、発言するタイプではなかったが、この経験を経て学校などでも意見を言えるようになった。
若者議会委員	若いうちから自分の意見を持てるようになった。未熟なところもあるからレベルアップしたい。
若者議会委員	行政に関わる経験ができる。まちづくりの政策に携われる

市議会議員	ことは良い。継続的に自分たちが関わっていききたい。 「もっせは一と」の名称の周知をもっとしたほうがいい。
若者議会委員	リノベーションをすることによって、学習する人が少なくなるのではないか。
市議会議員	リノベーションの周知のパンフレットでは、もっせは一との名称を使用する予定。 学習で利用したい人は、2、3階を使用してもらおう予定。 1階のスペースは、交流をメインにする。
若者議会委員	駐車場がもっと近くにあると、まちなみが使いやすいと思う。
市議会議員	自分たちが考えているのは、高校生など自転車を使用する年代がメインになるので、駐輪場の案内などをしていきたい。
若者議会委員	グループ席と一人席を利用する人のすみ分けはどうか。
市議会議員	勉強や作業するには、タイプがある。人の声でするほうがはかどる人や静かなところのがはかどる人など。人の声でするところで勉強したい人は、1階で行ってもらい、静かなところで勉強したい人は、2、3階で行ってもらうなどすみ分けをする。
若者議会委員	リノベーションをするにも、多くの若者たちにも理解してもらおうことが大切。 1階は飲食はOKなのか。
市議会議員	1階は、飲食大丈夫。
若者議会委員	ソフト面での政策についても考えたのか。
市議会議員	まちなみの雰囲気を変えるのに、スタッフの意識改革も必要。他にも、若者に若者チャレンジ補助金を利用したイベントも行ってほしい。
若者議会委員	備品は、どんなものを購入する予定か。
市議会議員	ソファや机など、グループで使用できる備品などです。
若者議会委員	外観からの見た目については、意見がでなかったのか。まちなみは、外の見た目が固い雰囲気を出している。
市議会議員	入り口にあるサイネージを駆使して、外から見たときにもどんな施設なのか、若者が気軽に使える施設だと分かるようにしたい。
若者議会委員	リノベーションをすると今のまちなみと違う雰囲気になる。それについて、反発の意見がでることは想定したのか。
若者議会委員	まちなみが1階をしゃべりながら交流できるスペースにリノベーションすることについては、しっかり周知をしてい

市議会議員	く。 カフェや喫茶店ではなく、まちなみを選んでもらうために どんな違いがあるのか。
若者議会委員	長期的な空間として、若者が交流できるスペースを作る。 長時間過ごせたり、みんなでボードゲームなどをしてわい わいとして過ごせる空間などの特徴がある。

4 市議会議長あいさつ

5 委員会ごとに共有

終了時間：午後 9 時